

会 議 録

会議名	平成 28 年度第 3 回八王子市博物館協議会
開催日時	平成 28 年 11 月 29 日(火)午後 6 時 30 分～8 時 30 分
開催場所	八王子市郷土資料館 集会室
出席者	委員 磯部剛久、小此木正貴、小野一之、柿崎博孝、数馬広二、 國方則和、黒澤美代子、佐藤栄子 (50 音順)
	事務局 叶清こども科学館長、中正由紀郷土資料館長 (文化財課長)、森融こども 科学館専門幹兼主査、尾崎光二郷土資料館担当主査、中村善行郷土資料 館担当主査、河津美穂子郷土資料館担当主任、佐藤友紀郷土資料館担当 主事
欠席者	鎌倉佐保、佐々木幹夫
議 題	協議事項 1. 施設評価について 2. 平成 28 年度八王子市こども科学館及び郷土資料館事業(4～10 月期)実 施状況について 3. 郷土資料館内見学 4. 報告事項 5. その他
公開・非公開の 別	公開
傍聴人の数	0 名
配付資料名	会議次第 平成 28 年度施設評価 こども科学館 平成 28 年度施設評価 郷土資料館 平成 28 年度こども科学館事業(4～10 月期)実施状況 平成 28 年度郷土資料館事業(4～10 月期)実施状況 八王子市こども科学館基本設計概要版 新郷土資料館基本構想(素案) パブリックコメント

	<p>一開会后、議題(1)の施設評価について佐藤郷土資料館担当主事より説明。一</p> <p>一質疑応答一</p> <p>黒澤委員 外部評価は誰が行っているのですか？</p> <p>尾崎主査 施設評価シートに従って自己評価を行った後、博物館協議会で報告し、委員の皆様より意見等を頂くことを外部評価として位置付けております。</p> <p>柿崎会長 博物館協議会が外部評価を行うという事ですね。</p> <p>尾崎主査 そうです。</p> <p>数馬委員 自己評価はいつごろから実施しているのか。また達成度について、昨年度はどうだったのか参考までに教えてください。</p> <p>尾崎主査 実施につきましては、平成23年度に施設評価を実施いたしました。それから博物館協議会の中で項目等微調整を加えながら現在に至ります。郷土資料館の昨年度の達成度につきましては、各項目「達成」・「ほぼ達成」の評価となっております。その他数値で評価できない項目につきましては評価シートをご覧ください。</p> <p>森主査 科学館では前年度の実績値を目標値として設定しております。項目4・5・6については「ほぼ達成」の3、教育普及事業に関しては「達成」の4としております。両館とも28年度からは評価基準について明確な数値基準を設けました。</p> <p>黒澤委員 目標値について、基本的に前年度の数値を設定してありますが、前年度ベースではなく、高い目標を掲げることはしないのでしょうか。前年度ベースの目標値では常に前年と同じで良いというスタンスに感じてしまうのですが。</p> <p>尾崎主査 郷土資料館については平成27年度の入館者数が2万人ほどになっておりますが、10年前までは3万人ほどおりました。3万人を割った年は市民会館の移転があり、その後資料館の隣で消防署の建設工事が始まり、資料館が閉まっているような印象を与えてしまい、2万人を割る恐れもあったのですが、平成27年度に上昇に転じました。そのため前年度の数値を維持しつつ、徐々に10年前の数値に近づけていくことを目標に数値を設定しております。</p> <p>中正館長 補足いたしますと郷土資料館の事業につきましては、年度により講座や体験学習の数が変化しているので、極端に入館者を増やすことが難しい状況でございます。また財源の確保につきましても、コピー代等の増収は利用者の目的に依拠せ</p>
--	---

	<p>ざるを得ないので、こちらも極端に増加させることが難しい状態です。そのため前年度実績を目標にした上で、目標を超えることに取り組んでいます。</p> <p>柿崎会長 他に無いようでしたら続いて議題(2)に移らせていただきます。</p> <p>—議題(2)平成28年度八王子市こども科学館及び、郷土資料館事業(4～10月期)実施状況について、森こども科学館専門幹兼主査より説明。続いて佐藤郷土資料館担当主事より説明。—</p> <p>—質疑応答—</p> <p>議部委員 プラネタリウムの番組を見ますと、妖怪ウォッチなど子供たちに人気があり集客力のある番組が非常にたくさんあると感じます。今後もこういったものを中心に続けていけば良いと思います。また「だれでもかんたん工作教室」の参加人数についてですが、募集定員は何名でしょうか。そして博物館実習についてですが、両館とも参加者が少ないと感じます。良い企画なのでもう少しPRに力を入れた方が良いのではないのでしょうか。更に入館者数についてですが、夏休みの入館者数が多い傾向にあるので、冬休みや春休みにイベントを企画するなど入館者を増やす方法を考えたら良いのではないかと思います。また郷土資料館の紙芝居について、内容が非常に魅力的である割には参加者が少ないように感じます。例えば紙芝居を駅ビルで開催するなどすればもっと人が集まるのではないかと思います。最後に職場体験の人数について参加者が2～3人とこれも非常に少ないと感じますが、これは普通のことなのでしょうか。以上教えていただければ幸いです。</p> <p>叶館長 体験教室の定員につきましては概ね20～25人程度です。工作など科学指導員による指導が行き届く範囲としてこの定員を設定しております。</p> <p>森主査 博物館実習につきましては、受け入れ時期が入館者の多い時期と重なりますので、講座補助をメインに実習をしていただいております。また座学等の指導も併せて行うため、現在の人数が適正と考えております。</p> <p>河津主任 博物館実習につきましては、郷土資料館で受け入れている博物館実習は大学の学芸員資格課程の単位を受講している学生を対象に大学からの依頼に基づき受け入れしておりますので、</p>
--	--

	<p>いわゆる学芸員の仕事体験のような形ではなく、教育実習に似た形の事業となっております。そのためこちらから大々的なPR等を行わない事業として位置付けております。</p> <p>礒部委員 わかりました。ありがとうございます。</p> <p>叶館長 次に冬休みの入館者増の対策についてですが、冬休みは年末年始の休館を含むので営業日数が短いこともあります。そのため今後の入館者増に向けては、何かしらの企画が必要だと考えております。</p> <p>中正館長 郷土資料館の紙芝居につきましては、資料館のボランティア活動の中の自主活動として行っている部分と郷土資料館の入館者を増やす意味合いで実施している部分もございますので、外部からの依頼があった場合は調整し、依頼先で上演する場合もございますが、基本的には資料館を主な上演会場として位置付けております。職場体験につきましては、生徒に対し職員が常に指導をしながらの作業になりますので、一度に多くの生徒を受け入れるのは難しいのが現状です。冬の入館者数に関しましては、郷土資料館の秋の特別展の会期が毎年11月～12月頃で終了となり、例年12月は入館者数が落ち込む時期となっておりますが、年末年始にかけては七福神に関する展示を行う予定です。この時期の八王子では「七福神めぐり」というイベントの開催期間中であり、JR八王子駅から西八王子駅周辺のお寺が対象となっておりますので、イベント参加者にも郷土資料館に立ち寄っていただけるように、イベントに関係した展示をしております。また毎年正月あそびを体験するイベントを成人の日を開催しており、イベントには多くの子どもが参加しております。</p> <p>礒部委員 ありがとうございます。</p> <p>小此木委員 郷土資料館の企画展・特別展の決め方、テーマ設定等についてどのように決定しているのでしょうか。市民会館の移転等で入館者数が減少した中、入館者数を増やすのは、企画展・特別展でどのようなテーマで市民に興味をもっていただくかが重要だと思います。そのためどのような過程でテーマ設定をしているのか教えてください。</p> <p>中正館長 特別展に関しましては、これまで周年事業に当たるものを中心に、関連する展示を行っております。昨年は戦後70年に当たる年であったため、1階の常設展示室をすべて使用した展</p>
--	--

	<p>示を行っております。来年度は市制 100 周年であることから、それに関する特別展の企画を考えております。企画展につきましては新収蔵展の他に、毎年夏休み期間中に戦争に関する企画展を開催しております。昨年は戦後 70 周年の特別展を開催したため開催しませんでした。例年は夏休み期間中に企画展として開催しております。その他につきましては、周年事業にあたる内容なのか否か、または学芸員からの企画提案を受け、テーマが重ならないような形で開催の可否を検討しております。</p> <p>小此木委員 企画展等の開催回数に上限はあるのでしょうか。</p> <p>中正館長 現在のところ、おおむね秋と冬の時期にそれぞれ特別展を、その間の時季に企画展を実施するような形をとらせていただいております。しかし場合によっては特別展の開催回数が増加することはありますので臨機応変に対応しております。</p> <p>小此木委員 年間の予算の枠組みの中で開催できる数を決めているという事ですね。</p> <p>中正館長 そのようになります。</p> <p>小此木委員 わかりました。</p> <p>柿崎会長 他にご意見ある方はいらっしゃいますか。</p> <p>黒澤委員 特別展・企画展につきまして、入館者の反応・満足度はどうなのか、館側の一方通行にならないようにアンケートは実施しているのでしょうか。</p> <p>中正館長 特別展・企画展につきましてはアンケートを実施しております。また講座では参加者全員にアンケートを配付し、記入して頂いております。満足度の他に、どのような講座ならば参加したいと思うか、誰と参加したかにつきましても分析を行っております。</p> <p>黒澤委員 一つ一つの事業について、こちらの狙いと見学者の感想がどれだけマッチしたのかを分析できるような項目があれば更に良いと思います。</p> <p>小野委員 郷土資料館のこどもの割合が例年 3 割程度になっているのですが、今年は 2 割弱になっているのは、これから冬にかけて社会科見学等で例年並みに近づくと考えてよろしいのでしょうか。また学校ではちょうどその時期に昔の道具について授業で学ぶかと思いますが、それに合わせた教育支援事業等は</p>
--	--

	資料館で用意しているのでしょうか。
河津主任	学校の団体見学は主に昔の道具についての調べ学習を目的とする小学校3年生が中心で、集中するのが9月と10月、そして1月と2月になります。現在の学校見学の申し込み状況から見ても、例年と同様の人数が見込めると考えております。
小野委員	ありがとうございます。こども科学館についてですが、休館期間中のネーミングライツの扱いについて、現在は契約を一時的に解除しているのか、またその場合休館中の館名はどうなるのか教えてください。
叶館長	こども科学館のネーミングライツは平成25年の8月から3年間の契約としております。本年7月で契約が満了となりましたが、交渉の結果、休館中も現在のネーミングライツを使用することと、その間の使用料について満額支払うという2年間の期間延長契約を締結いたしました。今後より一層の周知に努めていきたいと思っております。
小野委員	再オープンの際には今までどおりの名称を使用できるということですね。
叶館長	そうなります。
小野委員	わかりました。
数馬委員	資料館のホームページについて、例えば紙芝居のページでは絵は表紙のみ掲載している状態なのですが、内容についてさらに数枚程度、そして開催の様子なども併せて掲載すれば、当日来館できなかった人が後日ホームページ上で確認できるようになり、資料館の活動を更に周知できると思っております。権利の問題等もあるかと思いますが、ぜひ資料館の事業についてホームページを通じてより一層アピールしていただければと思います。またSNSもうまく活用すれば資料館への興味や意見を集約するツールとして有効ですので、SNS導入の可能性も教えていただければと思います。また資料館の入館者数の計測方法についても教えてください。
河津主任	ホームページにつきましては八王子市役所全体でシステムを構築しており、資料館もそのシステムに組み込まれた形のホームページデザインとなっております。SNSにつきましても郷土資料館単独のアカウントの取得はできないのが現状です。しかし来年年明けより市のホームページシステムが全面的に刷新することが決まっております、現在その稼働に向けての

	<p>説明会が開催されております。現在のシステムでは更新時間や各ページの容量などに制限がありましたが、新しいシステムでは各問題が解消され、現在のホームページより自由度の高いものになるかと思えます。新システム移行後は、今回の意見をできる限り、反映出来ればと考えております。</p> <p>数馬委員 現在ホームページの写真の掲載は資料館で行っているでしょうか。</p> <p>河津主任 資料館で行っております。記事作成後、館長の承認を受けて公開しておりますが、写真のサイズや容量に関しては制限がかかっており、思うような掲載ができない場合もございます。</p> <p>数馬委員 他の市ではどのような状況なのでしょう。</p> <p>河津主任 八王子市と同じシステムを使用している自治体はいくつかあるようですが、やはりシステムの見直しを検討しているようです。他には館独自のシステムを持っている博物館もありますが、資料館は現状のシステムとなっております。入館者の計数方法につきましては入口扉付近にセンサーが付いており、開閉によって入館者カウンターが動く仕組みとなっております。またボランティアの目視によるカウントも併せて行っており、それらのデータを総合的に判断し、入館者数を出しております。</p> <p>柿崎会長 時間の都合がございますので、これ以降の質問等は個別にご対応をお願いいたします。次にこれから施設見学に移る予定でございますが、その前に前回ご欠席でした小野委員に自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>—小野委員の自己紹介後、資料館の館内見学へ。—</p> <p>柿崎会長 ご案内ありがとうございました。引き続き議題(4)報告事項について事務局からお願いします。</p> <p>—叶館長より子ども科学館のリニューアル工事について、リニューアル後の展示内容・イメージ図を報告。続いて中正館長より新博物館の基本構想基本計画のパブリックコメント実施について、概要・実施時期等を説明。—</p>
--	---

—質疑応答—	
数馬委員	パブリックコメントの募集対象はどうなっていますか。
中正館長	市内在住・在勤・在学の方を対象にしております。
数馬委員	パブリックコメントの実施について公表する時期はいつ頃になりますか。
中正館長	12月10日頃を予定しております。
数馬委員	わかりました。
礒部委員	こども科学館のリニューアルについて、プラネタリウムの番組はどうなるのでしょうか。
叶館長	番組については常設的に上映する番組が5本ありますが、そのうち1本は大人の鑑賞に足るような内容の番組を、他は館の主な入館者となる小学校低学年や幼児に向けた番組を検討中です。
礒部委員	ありがとうございます。
小此木委員	医療刑務所跡地に作られる新博物館を含めた公園についてコンセプトは決まっているのでしょうか。
中正館長	具体的なコンセプトは決まっておりませんが、現状では防災機能と人々の集い機能を持つ公園を想定しております。防災機能につきましては、八王子駅の滞留者対策としての公園を想定しております。
小此木委員	そうなると設計する上で、様々な制約が出てきますね。
中正館長	閑静な住宅地の中にあるという事でイベントなどがどの程度可能なのか、交通に関しても考えていきます。
小此木委員	わかりました。
柿崎会長	他に意見が無いようでしたら、議題(5)その他に移らせていただきます。
—森主査より委員報酬についての事務連絡。その後叶館長より次回の開催予定について確認。—	
柿崎会長	それでは第3回八王子市博物館協議会を終了いたします。ありがとうございました。